

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	日頃よりご家族面会時などに苑の情報を伝えたり、ご家族の要望などを聴き、要望に沿えるようにしているが、ご家族が遠方で面会回数が少ない方等難しい状況にある。	ご家族からの要望、意見等が利用者ごとに偏ることなく運営に反映させる。	さくら苑の満足度などを盛り込んだご家族へ向けてのアンケートを実施し、運営に反映させる。	12ヶ月
2	4	運営推進会議の場所が苑外のため、会議のメンバー(ご家族代表以外)が苑を訪れたことがない。	苑の様子を運営推進会議メンバーに見ていただく	H31年度の運営推進会議計画の中に盛り込んでいく。	6ヶ月
3	35	母体病院との火災訓練はできているが、家族、地域を交えての訓練は出来ていない。また、災害時の備蓄(食品関係)はあるが、リスト化していない。	火災訓練へ家族の方に呼びかけ、参加してもらう。 ・災害用備蓄(食品関係)をリスト化する。	・家族会などで訓練への参加を提案し検討していく ・食品の備蓄を確認、リスト化する	6ヶ月
4	33	重度化・終末期になった際には母体病院と連携し、また、ご家族との話し合いを行いその人らしい最期を迎えられるように支援しているが、苑として日頃から出来る最良の支援の継続	さいら苑でその人らしく生活していただけるよう、本人、ご家族の望まれる最終を支援していく。	・ご家族とは面会時、又は本人との何気ない会話の中から希望などを聞き取りそれをプランへ反映させる	1ヶ月
5	30	医療機関との連携	今後も継続して医療機関との連携、家族からの相談に応じながら入居者の健康を支えていく。	・毎日のバイタル測定、午前、午後の外来への報告、特変時の早めの外来への相談の継続。 ・入居者のいつもと違う変化を見逃さないよう気を付ける。	12ヶ月
6	49	高齢の為、全員が外出する機会がない。	院内外問わず、皆が戸外に出る機会を設ける。	・天気が良い日はその方の状態に合わせ、散歩に皆が行けるようにする。 ・紅葉見学、初詣などの戸外への外出は毎回同じ人にならないように配慮する。	1ヶ月

7	52	居室に季節と関係ない掲示物が貼りっぱなしになっている。	今後も継続して季節感を味わうため、季節の花、壁面など皆で一緒に作り上げる。	・散歩に行った際にはその時の季節の花を摘み飾る。 ・その時の季節に合った掲示物を居室に飾り、季節が過ぎたものはなおす。	1ヶ月
8	40	お茶、おやつを部屋の中で食べることが多い。	・午前のお茶、午後のおやつを皆で楽しむ	・天気の良い時は外に出てお茶、おやつを楽しむ。	1ヶ月
9	45	居室へ入る際、居室に居ないことが分かっているのでノックをせずにはいることが多い。	個人の部屋として尊重し、居室に誰もいなくてもノックをして入室するようにする。	・居室へ入室する際は在室の有無に関わらずノックする。	1ヶ月
10	36	窓側にシェーバーが置きっぱなしになっている。	・安全面を考えた物の置き場を考える。	・シェーバーは浴室の窓棚に置かず、かごに入れ脱衣所の棚に置くようにする。 ・シェーバー置き場を決定し、職員全員が周知する。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。